

# センシング技術の進展と

# 今後の営農利用の可能性

2019.3.1(金) 13:15~17:00

## 【開催趣旨】

衛星画像やドローンの利用、また、クロップスペックやEC値、収量センサー等を用いたリアルタイムでのセンシング等、地力や作物生育、病害虫感染等の把握につながるセンシング技術の研究開発が進んでいる。この中で、小麦の水分含量推計に基づく収穫時期の判定、あるいはリアルタイム可変施肥などが実用化され、営農現場ですでに利用されている成果も増えており、今後ますます、広い分野での利活用が期待されている。そこで、センシングに関する最新の研究開発状況についてご報告いただき、今後の営農への活用の可能性等を検討する。

開催日時:2019年3月1日(金)13:15~17:00(受付13:00~)

会場:北海道大学学術交流会館 第1会議室(定員150名) 所在地:北海道札幌市北区北8西5  
(正門より入って左側2棟目・JR札幌駅北口より徒歩10分)

## 1) 基調講演 「北海道農業における ハイパースペクトル利用の可能性」

国立大学法人 北海道大学大学院理学研究院  
地球惑星科学研究部門 宇宙惑星科学分野 教授  
北海道大学 創成研究機構 宇宙ミッションセンター長  
高橋 幸弘

## 2) 報告

### (1)「ドローン画像による高精細フィールドセンシング」

農研機構 北海道農業研究センター ICT農業グループ 主任研究員 杉浦 綾

### (2)「蓄積されたセンシングデータの解析による新たな活用展開」

北海道立総合研究機構 十勝農業試験場 生産システムグループ 主査 原 圭裕

### (3)「ハイパースペクトルカメラを用いた北海道衛星株式会社の取組み」

北海道衛星株式会社 主任研究員 竹内 佑介

### (4)「衛星リモートセンシングデータを用いた営農現場での利活用の事例」

スペースアグリ株式会社 代表取締役 瀬下 隆

## 3) 質疑

主催:北海道高度情報化農業研究会

共催:北海道農政部

後援:ホクレン農業協同組合連合会、一般社団法人北海道産学官研究フォーラム、

特定非営利活動法人Digital北海道研究会

参加申込: 研究会HP または事務局まで (Eメール:h-ohtaka@adhokkaido.or.jp)

\*所属(個人生産者は市町村名)、役職、氏名を明記し、上記宛てにメールでお願いします。

参加費: 1,000円(資料代として) \*北海道高度情報化農業研究会会員、官公庁、自治体は無料